

和歌山県損害保険防犯対策連絡協議会総会を開催

～損害保険事業の健全な発展のため、損保業界と関係機関が連携することの重要性を確認～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務代表取締役）では、6 月 17 日（火）和歌山市内で、令和 7 年度和歌山県損害保険防犯対策連絡協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など 38 名の出席がありました。

総会開会に際し、和歌山県損害保険防犯対策連絡協議会の石橋 健会長（東京海上日動火災保険株式会社和歌山支店長）から、関係各位の連携・協力で謝辞を伝えるとともに、「交通事故などに関して、不正な手段で保険金を得ようとするモラル事案が後を絶たないが、和歌山県警察には保険金詐欺事件の検挙に尽力いただいている。今後とも関係各位で連携し、不当不正請求の排除、保険金に絡む犯罪の防止に向けて一層努力していきたい。」との挨拶がありました。

来賓の和歌山弁護士会の岡 正人会長からは、「昨今、ますます悪質化、巧妙化する偽装請求に対して適切な対応をするためには、保険会社間や関係機関との連携が大切であり、本協議会の果たす役割は極めて重要であるとする。弁護士会としても、本協議会の活動に協力したい。」との挨拶がありました。

また、同じく来賓の和歌山県損害保険代理業協会の橋爪 誠治会長からは、「近年、複雑化、高度化していく犯罪に対しては、個々の保険会社の力だけではなく、業界全体がワンチームとなって向かっていかなければならない。関係各位の豊富な経験と知見をもとに活発な議論が今後も交わされることを期待している。」との挨拶がありました。

当協議会参与である和歌山県警察本部の井田 昌樹刑事部組織犯罪対策課長からは、「これまで、保険金詐欺事件を検挙することができたのも関係各位の尽力の賜物であると深く敬意を表したい。損害保険を悪用した犯罪の排除、検挙を引き続き推進していくので連携していただきたい。」との挨拶がありました。

続いて、当協議会の向坂会員（あいおいニッセイ同和損保社）から、令和 6 年度の活動報告および令和 7 年度の活動計画の提案があり、令和 7 年度は、保険金詐欺の疑いが持たれる事故多発者等による不当不正請求を行う対象者の対策や、悪質レッカー業者等による消費者トラブル事案に係る注意喚起・啓発の強化等に取り組むことが満場一致で承認されました。

次いで、当協議会の増田幹事（A I G 損保社）から、「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとにあらゆる暴力や犯罪を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決議文が読み上げられ全員一致で採択し、その意思を確固たるものにしました。

総会後の講演では、和歌山弁護士会民暴・非弁対策委員会の上岡 勇介委員長から「不当請求及びカスタマーハラスメントへの対応」と題して、不当請求、カスタマーハラスメントにおける最新事例と事例ごとの法的対応も含む具体的な対策について講演いただきました。続いて、和歌山県警察本部刑事部組織犯罪対策課の尾西 弘之調査官から「最近の暴力団情勢について」と題して、組織・構成員数が減少している現状や多様化する資金獲得手法の状況等について講話いただくとともに、匿名流動型犯罪グループの犯罪手口、被害状況、和歌山県警察の対応について報告いただきました。

当支部では、和歌山県警察本部や関係諸機関・団体と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進め、健全な損害保険事業の運営を通じた地域の安心・安全に貢献してまいります。

なお、総会の概要は次のとおりです。

令和7年度 和歌山県損害保険防犯対策連絡協議会総会 式次第

第1部 総会

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶 和歌山弁護士会 会長 岡 正人 様
一般社団法人和歌山県損害保険代理業協会 会長 橋爪 誠司 様
4. 参与挨拶 和歌山県警察本部 刑事部組織犯罪対策課 課長 井田 昌樹 様
5. 来賓紹介
6. 令和6年度活動報告・令和7年度活動計画（案）提案
7. 役員改選提案
8. 決議文採択
9. 閉会の辞

第2部 講演 和歌山弁護士会 民暴・非弁対策委員会 委員長 上岡 勇介 様

和歌山県警察本部 刑事部組織犯罪対策課 調査官 尾西 弘之 様



会場の様子



開会挨拶をする石橋会長
(東京海上日動社)



活動報告を行う向坂会員
(あいおいニッセイ同和損保社)



役員改選提案をする小野寺幹事
(共栄火災社)



決議文を読み上げる増田幹事
(A I G損保社)



閉会挨拶をする上野副会長
(三井住友海上社)